

297mm

## 保証書

品番	BCD-014
お買上げ日	平成 年 月 日
保証期間	お買上げ日から1年間
お客様	〒 ー ご住所
	お名前 様
	電話番号 ー ー
販売店名	印

## 個人情報の取り扱いについて

- 保証書にご記入いただきました個人情報(氏名・住所・電話番号)につきましては、以下の通り取り扱いいたします。
- 利用目的：記載された個人情報は本製品にかかわる業務においてのみ利用します。
- 取得した個人情報は、法律上許される場合を除き第三者に提供することはありません。



ご注意：保証については「アフターサービス」のページで重要な内容と事柄をご覧ください。事前にご一読いただきますようお願いいたします。



愛情点検

## 長年ご愛用のCDラジカセの点検を

## こんな症状はありませんか

- 煙が出る
- 本体の変形や破損がある
- 異常なニオイや音が出る
- その他の異常・故障がある
- 内部に水や異物が入った

## ご使用中止

電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店又はビズライフお客様サポートに点検をご相談ください。

## サービスや修理に関するご相談

〒399-4603  
長野県上伊那郡箕輪町三日町655

## ビズライフお客様サポート

TEL：0265-70-9257 FAX：0265-96-0258  
受付時間：10:00～12:00/13:00～17:00  
月曜日～金曜日（祝日を除く）

## 製造者

## 株式会社 ビズライフ

〒101-0021  
東京都千代田区外神田4-7-7  
ソフト99ビル6F  
メールアドレス：info@bizlife.co.jp

X-BEAT

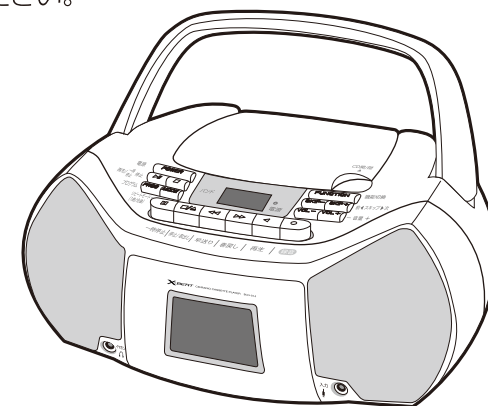
CD ラジオカセットプレーヤー

## 取扱説明書

品番：BCD-014

この度は、CDラジオカセットプレーヤーをお買上げいただきましてありがとうございます。

製品を正しくお使いいただくために  
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。



## もくじ

安全上のご注意	1
CDについて	3
カセットテープについて	4
各部のなまえ	5
電源の準備	6
つかいかた：共通	7
つかいかた：ラジオ	8
つかいかた：CD	10
つかいかた：テープ	12
つかいかた：外部入力	13
つかいかた：録音	14
お手入れのしかた	15
故障かなと思ったら	16
製品仕様	17
アフターサービス	18

## 付属品

- ・電源コード
- ・取扱説明書

■この製品は家庭用です。

保証書付

210mm

# 安全上のご注意

必ずお読みください

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をお読みください。  
製品を安全で正確にお使いいただき、お使いになる人や周りの人々への危害・損傷を未然に防止するために守っていただくことを『△警告』と『▲注意』に分けて説明しています。

❌ 記号は<禁止>(しないでください)を表示します    ⚠ 記号は<強制>(必ずしてください)を表示します

## ⚠ 警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

### 改造、分解、修理をしない



改造、分解、修理は絶対にしないでください。  
火災・感電・けがの原因となります。  
修理はお買上げの販売店又はビズライフお客様サポートにご相談ください。

### 異常等があるときは使わない



異常（煙が出る・異音がする・異臭がする等）があるとき、又は落下等により破損した時は電源プラグを抜いて本機の使用をおやめください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因となります。

### 電源プラグ・コードは正しく使う



次のように電源コードが破損するようなことはおやめください。  
・ねじる・引っ張る・無理に曲げる  
・束ねる・加工する・重い物を載せる  
・挟み込む・熱器具に近づける・傷つける  
火災や感電の原因となります。



電源プラグや電源コードが傷んでいる時は使わないでください。  
感電・ショート・発火の原因となります。



電源プラグを抜く時は、必ず電源プラグを持って抜いてください。  
コードを引っばると、感電・ショートによる発火の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因となります。



電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。不完全な差し込みの場合、感電や発熱による火災の原因となります。



電源プラグのほこり等を定期的に乾いた布で取り除いてお使いください。  
汚れたまま使用すると絶縁不良が起こり火災の原因となります。  
※お手入れの際は、安全のため電源プラグを差し込み口から抜いてください。



長期間使用しない時は電源プラグを抜いてください。  
感電や漏電火災の原因となります。

### 表示された電源電圧以外で使わない



表示された電源電圧以外では使わないでください。また、コンセント・配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。  
発熱による火災の原因となります。  
※船舶や自動車の直流電源では使用できません。

### 水で濡らしたり、水をかけたりしない



本機は防水ではありません。  
機器内部のショートや発熱により火災や感電の原因となります。

# 安全上のご注意



包装用ポリ袋は、幼児の手の届かないところに保管する

禁止 誤ってかぶると、窒息の原因となります。



乳幼児の手の届く範囲で使わない

禁止 感電やけがの原因となります。

### 金属物などの異物を入れない



隙間などから金属物などの異物を入れないでください。機器内部のショートや発熱により火災や感電の原因となります。



熱器具の近くに置かない

火気禁止 樹脂部分が溶けて引火する原因となります。

## ⚠ 注意 人が傷害を負う可能性及び物質的損害の発生が想定される内容

### 設置時・設置場所のご注意



不安定な場所に置かないでください。  
機器が落ちたり倒れたりしてけがをする恐れがあります。



高温になる場所に置いたり、そのような場所で使わないでください。  
変形・変色や火災の原因となります。



油煙や湯気の当たる所、湿気やほこりの多いところには置かないでください。  
油・水分・ほこりがついた部分を電気が伝わり、火災や感電の原因となります。



お手入れの際は、シンナー・ベンジン・アルコールを使用しない

禁止 本体の破損や変色の原因となります。

### 電源プラグを抜いてから移動する



設置場所を大きく変更する場合は、電源プラグを差し込み口から抜いてください。  
※接続したまま移動すると電源コードが傷ついて、火災や感電の原因となります。  
※また、電源コードに足を引っ掛け、けがの原因となります。



テレビやラジオの近くで使わない

禁止 電波に影響を与え、雑音の原因となります。



音量に気を付ける

聴力障害や近隣の迷惑になる場合があります。



移動時は本体を引きずらない

禁止 床や畳みを傷つける原因となります。

### 電池は正しく使う



■電池は、単2形×8本をお使いください。  
■電池の【+】、【-】を間違えないように正しく入れてください。  
■新旧や種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。  
■長時間使用しない場合は、電池を本体から取り出しておいてください。  
■電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、水などの液体や火の中に投入しないでください。  
■電池は充電しないでください。  
■電池の【+】と【-】を電気を通す金属で接続しないでください。また、ヘアピンや針金などの金属製の物を近くに置かないでください。  
■小さなお子様が電池を飲み込んだり舐めないようにご注意ください。

※上記を守らないと、液漏れ・発熱・発火・破裂を起こし、火災の原因となります。  
※万一液漏れが起こった場合は、素手で触れないでください。  
・液が目に入ったり皮膚についた場合は、目をこすらずにきれいな水で洗い、すぐに医師にご相談ください。  
・液が衣服についた場合は、きれいな水で洗い流してください。

## CD について

### 対応ディスク

CD、CD-R、CD-RW

### 対応フォーマット

CD-DA

※全ての再生を保証するものではありません。  
ディスクの種類や録音状態や記録方法など  
によっては、再生できない場合があります。

### お取扱上のご注意

CD の取扱いは、次の点をお守り  
ください。

- お手入れ時：シンナー、ベンジン、アル  
コール、レコードクリーナーは使用し  
ない
- 鉛筆、ボールペンで書き込みをしない
- シールやラベル等の接着剤が残ってい  
るもの、のりがはみ出しているものを  
使用しない
- ディスク面の印刷に市販のラベルプリ  
ンターを使用したものは使用しない

守らないと故障の恐れがあります。

### 保管のしかた

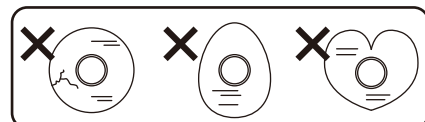
次のような場所には置かないで  
ください。

- ほこりの多い場所
- 高温多湿になる場所
- ヒーターなどの熱が直接当たる場所

### CD の形状について

次のような形状の CD は使用しな  
いください。

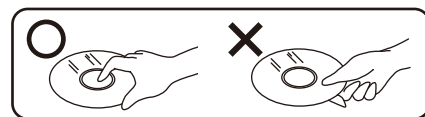
- 変形しているもの
- ヒビが入っているもの
- 特殊な形状のもの



回転が不安定になったり、内部で  
割れて部品を損傷させる恐れが  
あります。

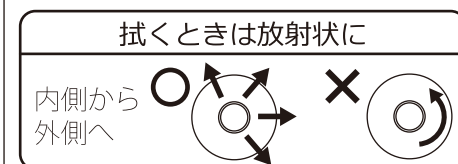
### 持ち方

CD を持つ時はデータ面（光る面）  
に触れないように持ってください。



### 汚れた時は

水を含ませたやわらかい布等で  
拭き、その後乾いた布で拭いて  
ください。



### 結露した時は

乾燥したやわらかい布等で水分を  
拭き取り、しばらく乾燥させてか  
ら、お使いください。

## カセットテープについて

### 再生できるカセットテープ

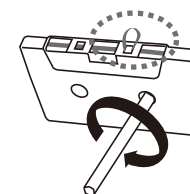
対応テープの種類はノーマルです。  
その他の種類のテープ（クロム・メタル）を再生されても音質はノーマル  
テープのものと変わりません。  
また、ノーマルテープであっても使用するテープや環境により音質が左右  
されます。

### 長時間用のカセットテープ

90 分を超えるカセットテープは短時間のものに比べると、テープが薄く  
伸びやすくなっています。小刻みな再生・停止や、早戻し・早送りを繰り返  
すとテープが回転部分に巻き込まれることがありますのでお気をつけ  
ください。

### テープがたるんでいる時は

テープにたるみがあると、再生時に機器内部に巻き  
込まれてテープが切れたり機器の故障につながる恐れ  
があります。  
鉛筆などで巻き取ってから再生してください。



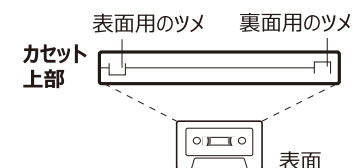
### 録音について

#### ・上書き録音について

録音時に新しいものが上書きで録音（それまでの録音は自動的に消去）されます。

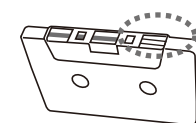
#### ・録音消去防止用のツメについて

ツメが折られたカセットテープへの録音は  
できません。



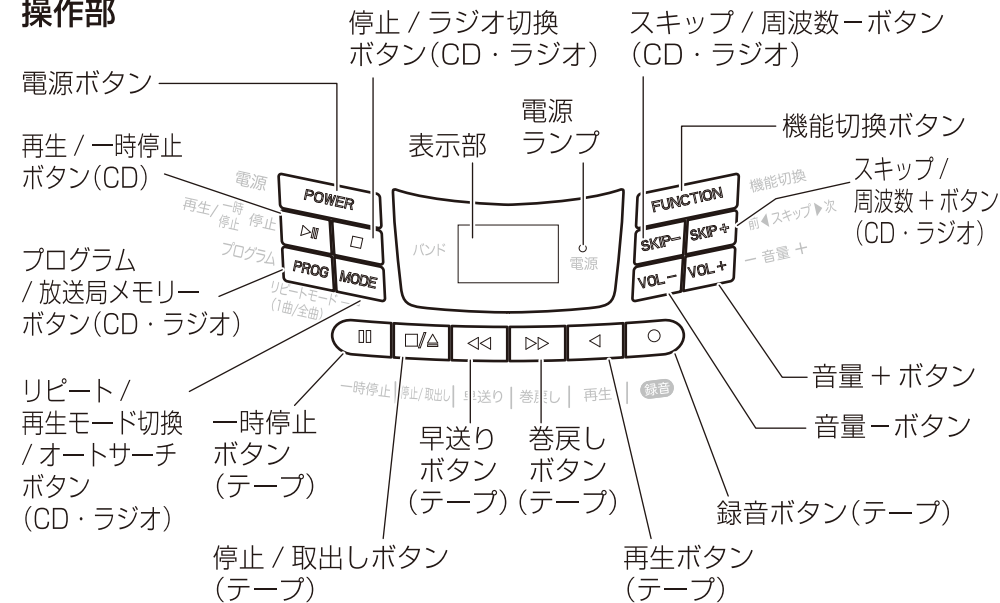
#### ・曲の頭が切れないように録音するには

テープの両端には録音できない部分（リーダーテープ部分）があります。  
あらかじめ鉛筆などで巻き取って、録音可能な  
磁気部分を出しておくことで頭が切れずに録音ができます。  
※両端の磁気がない部分がリーダーテープ部分です。

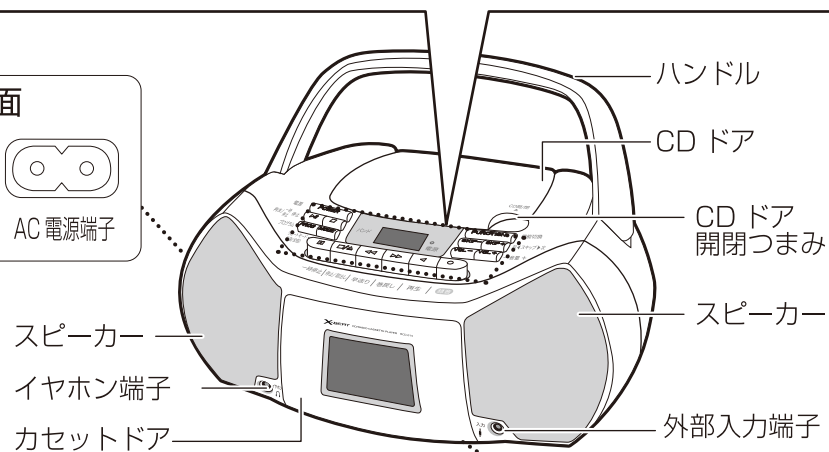


## 各部のなまえ

### 操作部



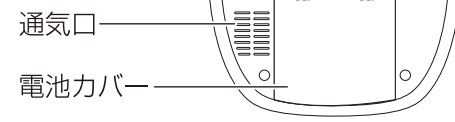
### 本体背面



### 電源コード(付属品)



### 本体底面



## 電源の準備

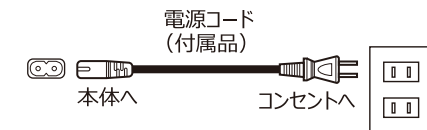
本機は家庭用 AC 電源または電池のいずれかの方法で使用することができます。

### 家庭用 AC 電源に接続する

#### 付属の電源プラグを接続する

① 本体背面の【AC 電源端子】に「電源プラグ(本体側)」を差し込みます。

② コンセントに「電源プラグ(コンセント側)」を差し込みます。

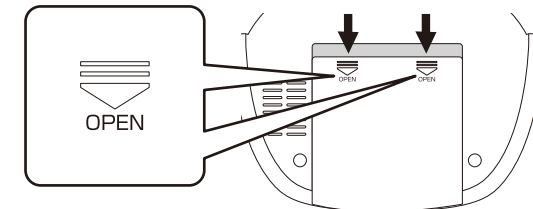


■ 電源コードが AC 電源端子に接続されていると家庭用電源が優先して働きます。

### 電池を使う

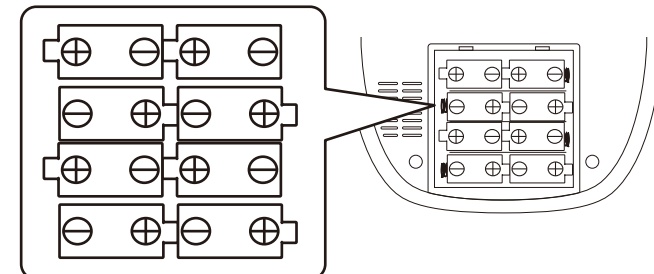
#### 1 本体底面の【電池カバー】を外す

■ 電池カバーの「OPEN」部分を軽くおさえながら矢印の方向にスライドさせて外します。



#### 2 電池をセットする

■ ⊕ ⊖ の極性を正しい向きに電池をセットします。



#### 3 本体底面の【電池カバー】を戻す

■ 電池カバーをスライドさせて元に戻します。  
※ 電源ランプが点灯します。

■ 電池で使うときは、電源コードを外してください。

※ 電池は付属品ではありません。  
※ メーカーや新旧の異なる電池を一緒に使わないでください。  
液漏れ等の原因となります。  
※ 長期間電池を使用しない時は本体から取り出してください。

#### 電池の交換時期について

電池が消耗してくると、音が小さくなる、音がひずむ、テープ速度が遅くなる、CD やテープが正常に動作しなくなります。



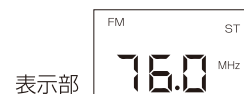
## つかいかた：共通

### 電源を入 / 切する

【電源ボタン】を押すと電源が入り、電源ランプが点灯します。

■初めて電源を入れた場合は表示部が「FM ラジオ」で電源が入ります。

■一度使用された場合は最後に使用したモードで電源が入ります。



POWER

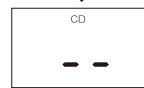
### 機能を切り換える

【機能切換ボタン】を押すたびに次の順で機能が切り換わります。



ラジオ

■FM/AM を受信することができます。  
→P8「つかいかた：ラジオ」をご覧ください。



CD

■CD (CD-DA 方式のみ) の再生を楽しむことができます。  
→P10「つかいかた：CD」をご覧ください。



テープ

■カセットテープの再生を楽しむことができます。  
→P12「つかいかた：テープ」をご覧ください。



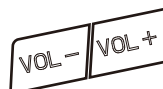
外部入力

■外部機器を接続して楽しむことができます。  
→P13「つかいかた：外部入力」をご覧ください。

FUNCTION

### 音量を調節する

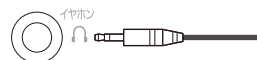
【音量ボタン+】【音量ボタン-】を押すたびに、  
押したボタンに応じて音量が変わります。



### イヤホンで聞く

音量にお気を付けください。

■接続時は音量を最小にしてから接続してください。  
※イヤホンをつなぐと、スピーカーから音は出なくなります。



【イヤホン端子】にイヤホンプラグ (3.5mm ステレオミニプラグ対応、市販品) を接続します。

## つかいかた：ラジオ

【機能切換ボタン】でラジオ機能に切り換えてください。

ラジオ機能に切り換えるには

■【機能切換ボタン】を押して切り換えてください。

FUNCTION



ワイド FM 放送について 本機はワイド FM 放送 (FM 補完放送) に対応しています。

ワイド FM 放送とは

AM が受信しにくいところでも、FM 中継補完局を通じて FM で AM を聞くことができる仕組みです。  
※周波数は地域によって異なりますので各ラジオ局のホームページ等をご覧ください。

ワイド FM 放送を受信するには  
FM に切り換えて、周波数を合わせてください。

### FM/AM を切り換える

【停止 / ラジオ切換ボタン (CD・ラジオ)】を押すたびに FM/AM が切り換わります。



■FM 受信中は次の内容が表示されます。  
・「FM」、設定中の周波数  
・「ST」(ステレオ受信中のみ)  
※自動で切り換わります。



■AM 受信中は次の内容が表示されます。  
・「AM」、設定中の周波数

### 放送局を自動でサーチ、メモリーする

【リピート / 再生モード切換 / オートサーチボタン (CD・ラジオ)】を押すと受信可能な放送局をサーチして自動でメモリーします。

■もう一度押すと、最初からサーチを開始し、メモリーされた放送局が上書きされます。  
■メモリーされた放送局は、電源プラグを抜くとリセットされます。

MODE

### 次の / 前の放送局をサーチする

【スキップ / 周波数-ボタン (CD・ラジオ)】または  
【スキップ / 周波数+ボタン (CD・ラジオ)】を長押しすると、受信可能な放送局をサーチして受信します。

■サーチした放送局はメモリーされません。



### 周波数を調節する

【スキップ / 周波数-ボタン (CD・ラジオ)】または  
【スキップ / 周波数+ボタン (CD・ラジオ)】を押すと周波数が調節できます。

■FM...0.1 MHz ずつ切り換わります。 ■AM...9 kHz ずつ切り換わります。



## つかいかた：ラジオ

【機能切換ボタン】でラジオ機能に切り換えてください。

### 放送局を手動でメモリーする

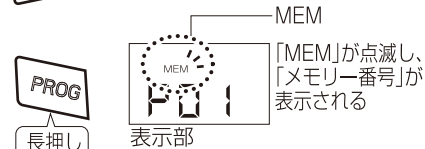
①メモリーする放送局を受信します。

■【スキップ / 周波数－ボタン(CD・ラジオ)】または【スキップ / 周波数＋ボタン(CD・ラジオ)】で放送局を合わせます。



②メモリー番号を表示させます。

■【プログラム / 放送局メモリーボタン(CD・ラジオ)】を長押しすると、メモリー番号が表示されます。



③メモリー番号を選択します。

■【スキップ / 周波数－ボタン(CD・ラジオ)】または【スキップ / 周波数＋ボタン(CD・ラジオ)】でメモリー番号を選択します。



④メモリー番号を決定します。

■【プログラム / 放送局メモリーボタン(CD・ラジオ)】を押して決定します。

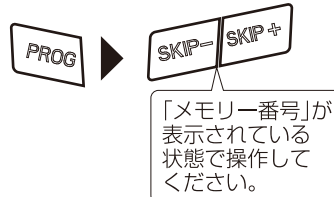


■操作がないまま数秒が経過すると設定は完了せずに周波数表示に戻ります。  
■メモリーされた放送局は、電源プラグを抜くとリセットされます。

### メモリーされた放送局を選択する

①メモリー番号を表示させ、番号を選択します。

■【プログラム / 放送局メモリーボタン(CD・ラジオ)】を押してメモリー番号を表示させ、番号が表示されている間に【スキップ / 周波数－ボタン(CD・ラジオ)】または【スキップ / 周波数＋ボタン(CD・ラジオ)】で選択します。



②選択したメモリー番号の放送局で受信します。

■メモリー番号を選択後、操作がないまま数秒が経過すると周波数表示に戻ります。



### ラジオの受信がうまくいかない場合は

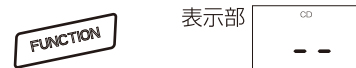
■FM・AM アンテナは内蔵されています。  
ラジオ受信がうまくいかない場合は、窓の近くや本機の向きを変えてお試しください。  
■近くに置いたテレビの画面に色ズレが生じたり、本機のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。

## つかいかた：CD

【機能切換ボタン】でCD機能に切り換えてください。

CD 機能に切り換えるには

■【機能切換ボタン】を押して切り換えてください。



### CD を再生する

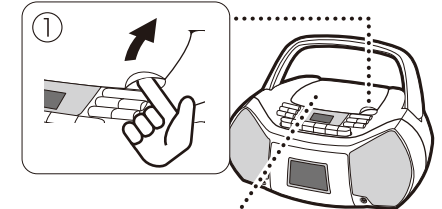
①【CD ドア開閉つまみ】に指をかけて CD ドアを開けます。

②CD をセットします。

③CD ドアを閉めます。

※CD ドアがしっかりと閉まっていないと、異音や CD を傷つける原因となります。  
※CD の読み込みが始まります。終わるまでお待ちください。  
■読み込み中…「—」が点滅表示される  
■読み込み後…曲数が表示される  
■CD が入っていない / 読み込めない場合…「no」が表示される

④読み込みが完了すると自動で再生が始まります。



### 再生 / 一時停止をする

【再生 / 一時停止ボタン(CD)】を押すたびに再生と一時停止が切り換わります。



### 停止をする

【停止 / ラジオ切換ボタン(CD・ラジオ)】を押します。



### スキップをする

【スキップ / 周波数－ボタン(CD・ラジオ)】または【スキップ / 周波数＋ボタン(CD・ラジオ)】を押します。



### 早戻し / 早送りをする

【スキップ / 周波数－ボタン(CD・ラジオ)】または【スキップ / 周波数＋ボタン(CD・ラジオ)】を長押しします。

■ボタンを押し続ける間、早戻し / 早送りします。

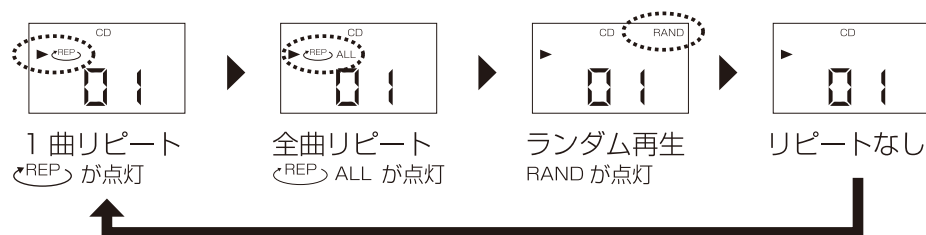


## つかいかた：CD

【機能切換ボタン】でCD機能に切り換えてください。

### 再生モードを切り換える

【リピート / 再生モード切換 / オートサーチボタン (CD・ラジオ)】を押すたびに、再生モードが次の順で切り換わります。



### プログラム再生をする

①再生中の場合は停止の状態にします。

■【停止 / ラジオ切換ボタン (CD・ラジオ)】を押して停止の状態にします。

②プログラム番号を表示させます。

■【プログラム / 放送局メモリーボタン (CD・ラジオ)】を押してプログラム番号を表示させます。

③トラック番号を選択します。

■【スキップ / 周波数－ボタン (CD・ラジオ)】または【スキップ / 周波数＋ボタン (CD・ラジオ)】を押すとトラック番号が切り換わります。

④トラック番号を決定します。

■【プログラム / 放送局メモリーボタン (CD・ラジオ)】を押して決定すると、次のメモリー番号が表示されます。

⑤「②」～「④」をくりかえしてプログラムの順番を設定します。

■20 曲までプログラムできます。  
※20 曲を超えて設定しようとした場合は「FUL」が表示されます。

⑥【再生 / 一時停止ボタン (CD)】を押すと再生が始まります。

■次のいずれかの場合、プログラムが解除されます。(未解除の場合は表示部に「PROG」が表示されます。)  
・プログラムした曲の再生がすべて終わった場合  
・【電源ボタン】を押して電源を切った場合  
・表示部の「PROG」が消えるまで【停止 / ラジオ切換ボタン (CD・ラジオ)】を押した場合

## つかいかた：テープ

【機能切換ボタン】でテープ機能に切り換えてください。

テープ機能に切り換えるには

■【機能切換ボタン】を押して切り換えてください。

表示部

TAPE

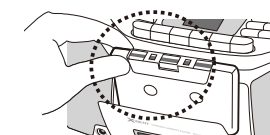
### テープを再生する

①【停止 / 取出しボタン (テープ)】を押してカセットドアを開けます。

■再生中に押した場合は停止の状態になります。  
停止の状態でもう一度押してカセットドアを開けてください。

②カセットテープをセットします。

■テープ部分を上に、再生面を手前にしてカセットテープをセットします。



③カセットドアを戻します。

④【再生ボタン (テープ)】を押すと再生が始まります。

### 一時停止をする

【一時停止ボタン (テープ)】を押すと一時停止します。  
もう一度押すと解除されます。



一時停止

一時停止解除

### 停止をする

【停止 / 取出しボタン (テープ)】を押すと再生が停止します。

■すでに停止している状態で押した場合はカセットドアが開きます。

### 早送り / 巻戻しをする

【早送りボタン (テープ)】または【巻戻しボタン (テープ)】を押すと早送りまたは巻戻しが始まります。



巻戻し・早送りをする際は、必ず手動で停止をしてください。

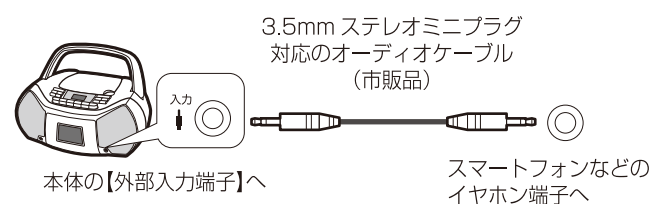
■テープが巻き戻った後もボタンが押されたままになるとテープと本体のモーターに負担がかかり製品の故障や劣化の原因となります。

## つかいかた：外部入力

### 外部機器を接続、再生する

■接続前に電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
電池を使用している場合は電池を抜いてください。

①本機の  
【外部入力端子】に  
接続します。



②外部機器の  
【イヤホン端子 /  
ヘッドホン端子 /  
ライン出力端子】  
などに接続します。

③本体の電源プラグをコンセントに差し込みます。

④【機能切換ボタン】を押して外部入力機能  
に切り換えます。



⑤接続した外部機器で再生します。

■接続した外部機器の操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

⑥音量調節をします。

■音量を最大にしても聞こえにくい場合は、接続した外部機器の音量もご確認ください。  
接続した外部機器の操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

## つかいかた：録音

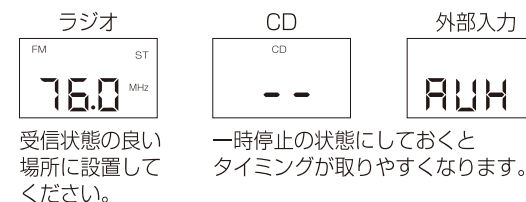
受信中または再生中の内容を  
テープに録音することができます。

### 録音する

①【機能切換ボタン】を押して  
ラジオ・CD・外部入力の中から機能を選択します。

FUNCTION

■テープからテープへの録音はできません。



②テープをセットして、  
【録音ボタン(テープ)】を押します。

■【録音ボタン(テープ)】は確実に下まで押してください。  
■【録音ボタン(テープ)】を押すと【再生ボタン(テープ)】も同時に押された状態になります。

③録音が完了したら【停止 / 取出しボタン(テープ)】を  
押します。



■録音レベルは自動です。最適な状態で録音されますので自由な音量でお楽しみください。

### ■録音した内容を消去するには

内容を消去したいテープをセットして、無音状態で録音をします。

※次のような方法で無音状態になります。

- ・ CD 機能で CD を再生せずに録音する
- ・ 外部入力機能で外部機器を接続せずに録音する

### 大切な録音を消さない為に

- ・ カセットテープの後ろ側にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。
  - ・ 誤ってツメを折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで誤消去防止穴をふさいでください。
- P4「カセットテープについて」をご覧ください。

### ■著作権について

ラジオ・CD・ミュージックテープ・カラオケテープのような音楽作品は音楽の歌詞や楽曲と同じように著作権法によって保護されています。著作権法が適用される楽曲等が録音されたものを無断で販売、配布することはできません。個人でお楽しみください。



お手入れのしかた

- お手入れに必要な「クリーニングセット」は市販品をご利用ください。クリーニングセットに明記されている使い方でお使いください。誤った使い方をすると故障の原因となります。
- お手入れの際は電源コードをコンセントから抜き、電池を外して行ってください。
- シンナー、ベンジンなど揮発性の高い液体や化学ぞうきんなどは使わないでください。変色、変形、故障の原因となります。

本体

- ゴミやほこりを定期的に取り除いてください。
- 汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に含ませてよく絞って拭き、その後、乾いた布で拭いてください。

CD ピックアップレンズ

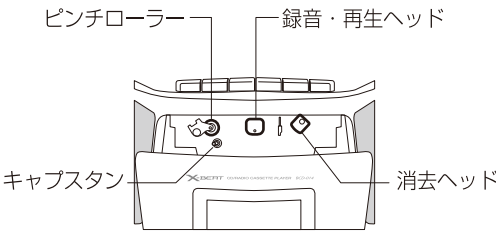
- 市販の CD クリーニングディスクをお使いください。
- お買い上げの CD クリーニングディスクにより手順が異なりますので、お買い上げの CD クリーニングディスクの取扱説明書に従ってお手入れをしてください。

磁気ヘッド / 録音・再生ヘッド

- テープに接触する部分は汚れやゴミがつきますので定期的にお手入れをしてください。

録音・再生ヘッド、ピンチローラー（ゴム製のローラー）、消去ヘッドはテープを安定して走行させたり、録音や再生に対して重要な部品です。汚れたり異物が付着すると本来の性能を発揮できないばかりか、テープを巻きこんだり破損させることがあります。

- ①カセットテープドアを開けます。
- ②クリーニングセットの使い方に従って正しく清掃します。
- ③洗浄液などを使用した場合は、よく乾燥させてからお使いください。



- 長時間テープを使用すると、録音・再生ヘッドが磁化されて雑音が出るなど本来の性能を発揮できなくなることがあります。性能が悪くなったと感じた時は市販の「消磁器」で消磁してください。

故障かなと思ったら

症状		対処方法
共通部	電源が入らない	■コンセントを使用する場合：電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 →コンセントを電源プラグに差し込んでください。 ■電池を使用する場合：電池が消耗していませんか。 →新しい電池に交換してください。 ■電池を使用する場合：電池の向きが間違っていないですか。 →正しい向きに電池をセットしてください。
	音が出ない	■音量が最小になっていませんか。 →音量を調節してください。 ■外部機器を接続した場合：外部機器の音量が最小になっていませんか。 →外部機器の音量を調節してください。 ※外部機器の操作方法はその機器の取扱説明書をご覧ください。
	雑音が入る	■周辺にテレビや他の音響機器がありませんか。 →本機を離してお使いください。
CD 部	CD が再生しない	■上下逆さまに入れていませんか。 →印刷面を上にしてディスクを入れてください。 ■規格外のディスクを入れていませんか。 →P3「CD について」をご覧ください。
	CD が音飛びする	■ディスクにキズや汚れがありませんか。 →キズや汚れのないディスクを入れてください。 ■ディスクが結露していませんか。 →水分を拭いて乾燥させてください。
ラジオ部	ラジオが受信しない	■受信状態の悪い場所に設置していませんか。 →FM アンテナ、AM アンテナは本体に内蔵されています。 本体の向きを調節してください。 ※お住まいの地域や環境によっては一部の放送局の受信状態が良くないことがあります。
テープ部	テープの音が小さい テープの音が歪む	■録音・再生ヘッドが汚れていませんか。 →P15「お手入れのしかた」をご覧ください。
	録音できない	■テープのツメが折れていませんか。録音できるテープをお使いください。 →P4「カセットテープについて」をご覧ください。
	雑音が入る	■録音・再生ヘッドが汚れていませんか。 →P15「お手入れのしかた」をご覧ください。
	前の録音が残る	■消去ヘッドが汚れていませんか。 →P15「お手入れのしかた」をご覧ください。

製品仕様

共通部

電源	AC：100V 50/60Hz、 DC：12V( 単 2 乾電池 ×8)
消費電力	12W
スピーカー出力	1.2W+1.2W
入出力端子	外部入力端子、イヤホン端子
外形寸法	(約)W297×D225×H127mm
質量	(約)1.2kg
電池持続時間	テープ再生時：約 15 時間、CD 再生時：約 13 時間、FM 録音時：15 時間 ※アルカリ乾電池使用の場合
電源コード長	(約)1.4m
付属品	電源コード、取扱説明書(保証書)

ラジオ部

受信周波数	FM：76～108MHz(ワイド FM 対応)、 AM：522～1629kHz
-------	---

CD プレイヤー部

チャンネル数	2 チャンネルステレオ
サンプリング周波数	100Hz=-2.5dB、1kHz=0dB、10kHz=0dB
ピックアップ	半導体レーザー
対応ディスク	CD、CD-R、CD-RW
対応フォーマット	CD-DA

テープレコーダー部

トラック方式	2トラック、2チャンネルステレオ方式
バイアス方式	DC方式
消去方式	マグネット消去
早送り・巻戻し時間	早送り：約 140 秒、巻戻し：約 140 秒(c-60 テープ使用)
周波数範囲	125Hz=-2dB、1kHz=0dB、6.3kHz=0dB

※製品の仕様やデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。  
※本製品は日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

アフターサービス

保証書

- 保証書は販売店にて所定事項（販売店名、お買上げ年月日など）を記入もしくは、保証書添付レシートを印字してお渡ししますので、保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間はお買上げ日から1年間です。保証対象は機器本体のみです。（保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証規定をよくお読みください）
- 保証期間中は保証規定に従い無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎている時はお買上げの販売店又はビズライフお客様サポートにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。

保証規定

1. 保証期間中に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 修理はお買上げの販売店又はビズライフお客様サポートに必ず製品本体と保証書を提示の上、ご相談ください。
3. ご贈答、ご転居の際は、お買上げの販売店又はビズライフお客様サポートにご相談ください。
4. 次のような場合、保証中でも有料修理になります。
  - ・ 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷など天災地変による故障や損傷。
  - ・ 指定以外の電圧を加えたことによる故障や損傷。
  - ・ お買上げ後の落下、移動など運送上の破損及び取り付け時の破損や損傷。
  - ・ 保証書の提示がない場合。
  - ・ 保証書にお客様名、お買上げ日、販売店名の記入がない、または字句を書き換えられた場合。
  - ・ 一般家庭用以外での業務用に使われた場合（本製品は一般家庭用であり業務用ではありません）
  - ・ 使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
  - ・ 不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
6. 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

その他

- 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店又はビズライフお客様サポートにご相談ください。